

道徳通信

～未来への道標～

東方中令和元年7月17日発行

1年生

本日の授業者【 原田 先生 】

タイトル「 トマトとメロン 」 ねらい「 個性の伸長 」

○内容や授業の様子

相田みつをさんの詩「トマトとメロン」を読んで、それをもとに事故を見つめ考えた。

○子どもたちの声

人と比べて評価するのではなく、自分なりに努力して自分を磨いていけばいい。与えられた命を一生懸命に生きよう。

個性を大切に伸ばしていこう。それと同時に個性を認め合える集団を作ること大切。

2年生

本日の授業者【 山口 先生 】

タイトル「 自然の偉大さ 」 ねらい「 自然の美しさや偉大さに触れる 」

○内容や授業の様子

縄文杉に関する話を読み、タブレットPCを持ってペアで外に出て、自分が感じた自然とその説明をまとめ発表した。

○子どもたちの声

自分たちの感性を生かして観察したら、身近なところに木や花、草、昆虫・など、自然の素晴らしさに改めて気づき、感じとることができた。

3年生

本日の授業者【 田畑 先生 】

タイトル「 エリカ～奇跡のいのち～ 」 ねらい「 生きていることの奇跡 」

○内容や授業の様子

命の大切さや命のバトンリレーについて学ぶ。

○子どもたちの声

私が今生きているのは、先代からの命のリレーとして、命を受け継いでくれたから。

これからも命を大切に生活していきたい。

自分の命をしっかりと受け継いでいきたい。

校長のつぶやき

普段何気なく生活しているとそのものの価値であったり、自然の素晴らしさであったり、命に対する向き合い方など気づかないこともしばしばです！

では、改めて気づかされる時ってどんな時でしょう？

本を読んだり、外を歩いてみたり、家族でどこか出かけたり

一人では気づきにくいことも、周りの人と一緒にいることで

再発見できるのかもしれませんが。夏休みって「アンビリバーボー！」

